

## 会長挨拶

会長 菊地正榮

皆様こんにちは。旧暦で春の最後の月、晩春弥生の月に入りました。私は4月も春かなと思っていましたが、暦では1月から3月までが春で、4月は夏に入るようです。

先週の3000回記念例会は、親睦出席委員会の皆様、会員の皆様方にご協力いただき誠にありがとうございました。記念卓話も少し難しい分野のお話でしたが、秋鹿研一先生に高話を頂きました。昨日の新聞にも、全ての化石燃料をアンモニア燃料に変えた場合、製造時のCO<sub>2</sub>排出量を7~8割低減することも可能だとの記事も載っておりました。最も安いグリーン電力でアンモニアを作り、二酸化炭素CO<sub>2</sub>削減で地球を救う研究をされている秋鹿先生方に期待をいたします。

さて、今月はロータリーでは水と衛生月間です。私たち一人ひとりが1日に使用する水の量はおよそ300ℓ近くだそうです。蛇口をひねれば水が飲める状況の日本では飲み水に困るということはありませんが、世界では水不足が深刻化し、当たり前前に清潔な水を確保できない地域が少なくありません。世界人口白書(2021年)によりますと、世界人口は78億7500万です。現在その40%以上に当たる36億人が水不足に悩まされているようです。30年後には、約97億人になるとされる世界人口の内約半数が水不足にさらされ、4人に1人は慢性的な水不足の影響を受けると予測されております。

水不足は、人口増加、産業の発展、気候変動による地球温暖化、開発による森林伐採により水を蓄積する森の減少等水源の破壊も原因となります。今後、水不足問題が引き起こす戦争や対立も生まれ無いう、その原因を理解して、日々の生活を意識して行動することが大切で、お互いに節水に心がけ生活していきたいと思えます。

地球上の96%を占める海水を淡水化する技術には逆浸透法(RO)があり、RO法で使用されるRO膜の約50%を日本のメーカーが作り、排水下水再利用など水のインフラで優れた技術を持つ我が国は水不足問題の解決に大きく貢献できると期待されております。

## 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- I. 真実かどうか
- II. みんなに公平か
- III. 好意と友情を深めるか
- IV. みんなのためになるかどうか

イマジン  
ロータリー

2022-2023年度 国際ロータリー会長

ジェニファー・ジョーンズ氏 テーマ

イマジン ロータリー



R1第2620地区 静岡第2グループ

沼津北ロータリークラブ

テーマ

「想像しよう 一人ひとりが」

WEEKLY  
BULLETIN NO. 25<http://NNRC.e47.jp/>

会長 菊地 正榮 幹事 内野 聡

事務所 〒410-0801 沼津市大手町1-2-1  
フォーラム壹番館3F  
TEL.055-963-1960 FAX.055-963-1970  
E-mail:numazu-n-rc@coffee.ocn.ne.jp

例会場 〒410-0802 沼津市上土町100-1  
沼津リバーサイドホテル  
TEL.055-952-2411 FAX.055-952-2455

例会日時 毎週火曜日 12:30~13:30

## プログラム

3月14日 通常例会  
3月21日 祝日休会  
3月28日 通常例会、理事会  
4月4日 特別休会

## クラブ会報委員会

委員長 一杉 泰博  
副委員長 堤 親朗 坂倉 久慶  
委員 大貫 隆弘 海野 俊也  
本号担当 堤 親朗